

平成28年度 後期 学校評価アンケート(児童)



【後期学校評価アンケート(児童)結果のお知らせ】

後期の児童アンケートから、それぞれの項目について「そう思う・大体そう思う」を合わせた適合度の割合を見ると「先生は勉強をていねいに教えてくれる」94.4%、「友だちと仲よくし、みんなで活動できる」93.6%、「人や身の回りの物(生き物もふくむ)を大切にしている」が94.1%、「運動やスポーツを元気よく楽しむことができる」93.1%と前期に引き続き高評価となっています。今後も、望ましい人間関係作りや豊かな集団生活が営まれる学級・学校を目指して、学習をはじめとする様々な活動や取組のさらなる充実を図っていきたいと思います。

課題としては、前期に引き続き「宿題以外の家庭学習に取り組んでいる」67.4%が挙げられます。前期66.2%と比べると改善していますが、引き続き、自主学習、家庭学習の習慣づけを保護者の方と共に理解を図りながら、取組を進めていきたいと思います。また、「困ったときや何かあれば、先生に相談している」は67.6%となっており、子どもたちの良き相談相手、何でも話せる存在でいられるよう、一人一人の思いを共感的に受け止め、教職員一同より良い集団作り、学校・学級経営を進めていきたいと考えています。

来年度に向けて、各項目の「あまりそう思わない」「そう思わない」と評価されていることについても、改善していくけるよう継続的な取組を学校、家庭と連携をとりながら進めていきたいと思います。

